

20-6 いろいろな未来



活動

みらい かん ぶんしょう よ
未来に関する文章を読む。

かたち



時間

+

せつめい編

- (文-75 V(ら)れます(受身))
 文-79 Vようになります
 文-80 みたいです/ようです
 文-82 Vやすいです
 文-83 Vにくいです
 (活-08 受身形)

談話の技術

準備する物

使うことは

みらい 未来*、ロボット*、まだ、コンピュータ、人間*、命令〔する〕*、動く、しかし、将来、
 自分、考える、技術、使う、作る、計画、現在*、だけ、サッカー*、チーム*、試合、研究、
 進める*、勝つ、強い、例えば、火事、海、場所、そして、助ける*、資源*、探す、また、持
 つ、料理、掃除、買い物、仕事、いちばん、学校、世界、~中*、大勢、インターネット*、利
 用〔する〕、授業、受ける、先生、同じ、クラス、友だち、つながる*、話し合い*、生徒、
 年、国、美術*、手、感じる*、体育*、バスケットボール*、クラブ活動*、話す、遊ぶ、
 きっと、生活、最近、携帯電話*、どんどん、腕時計*、大きさ、写真、送る、電話、合う、便
 利、道具、町、環境*、問題、道、混む*、空気、汚れる、ガソリン、電気、車、あまり、汚
 す*、乗る、観光丸*、宇宙*、ロケット*、宇宙旅行*、地球*、大切

~にとって/ ~だけでなく ~も

手 順

1. 学習者はそれぞれ、〈モデルテキスト〉
 の(1)~(3)の3つの文章の中から読みた
 いものを、題名を見て選ぶ。
2. 選んだ文章を読んで、質問に答える。
3. クラスの中で同じテキストを選んだ学習
 者を探し、3、4人のグループになる。
4. グループで、答えを確認する。

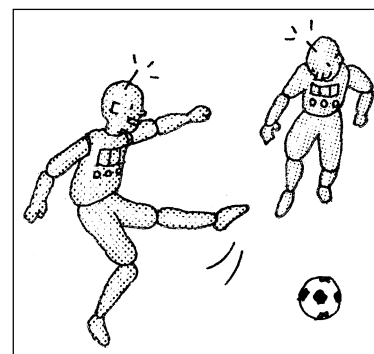
モデルテキスト

(1) み来のロボット

いまはまだ、コンピュータは人間がめいれいしないと動かない。しかし、
しょう来はコンピュータが自分で考えて動くようになるだろう。この
ぎじゅつを使ってロボットを作る計画がある。げんざい、ロボットだけの
サッカー・チームを作って、人間と試合をするという研究が進められている。
2050年までには、人間のチームにかてる、強いロボットのサッカー・チームが
できるようだ。

ロボットは、サッカーだけでなく、ほかのこともできるようになる。
ロボットは、たとえば火事や海の中など、人間にとって行きにくい場所に
行くことができるようになる。そして、人間をたすけたり、しげんをさがしたり
することもできるようになるだろう。

また、しょう来は、どこのうちもロボットを持つようになるだろう。料理を
作るロボット、そうじをするロボット、買い物をするロボットなどができる
だろう。人間の仕事をロボットがするようにな
ったら、人間は何をしたらいだろう。み来の
人間にとって、自分が何をするか考えるのが、
いちばんたいへんな仕事になるかもしれない。



質問

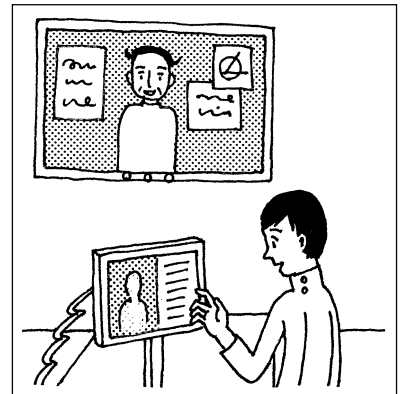
- ① 2050年には何ができますか。
- ② ロボットはどんなところに行けますか。
- ③ あなたはどんなロボットがほしいですか。どうしてですか。

(2) み来の学校

げんざい、世界中のおおぜいの人^{ひと}がインターネット^{よう}をり用して勉強^{べんきょう}している。しょう来^{らい}は、もっとおおぜいの人^{ひと}がコンピュータ^{つか}を使って勉強^{べんきょう}するようになるだろう。そして、学校^{がっこう}に行かなくても、うちでコンピュータ^{つか}を使って、じゅ業^{ぎょう}がうけられるようになるだろう。そのコンピュータ^{せんせい}は先生^{せんせい}とだけではなく、同じクラス^{おな}の友達^{とも}たちともつながっている^{はな}ので、みんなで話しあい^{はな}をすることもできる。同じじゅ業^{おな}をうけている生^{ぎょう}との中には、いろいろな年^{とし}の人^{ひと}がいる。いろいろな国^{くに}の人^{ひと}もいる。

いま、コンピュータ^{ぎょう}はいろいろなじゅ業^{つか}で使^{つか}われている。びじゅつやぎじゅつ^{つか}などでは、コンピュータ^{せんせい}を使って、先生^{せんせい}たちのぎじゅつ^てを、手^てでかんじることができるようになるかもしれない。体^{たい}いくのじゅ業^{ぎょう}では、一人^{ひとり}でサッカーやバスケットボール^{ぎょう}ができるようになるかもしれない。

でも、み来^{らい}になっても、学校^{がっこう}に行く生^{せい}ともいるだろうと思う。たとえばクラブ活動^{かつどう}をしたり、友達^{とも}たちと話し^{はな}たり、あそんだりするために、学校^{がっこう}に行きたい^いと思う生^{せい}とは、きっとおおぜいいるだろう。



質問

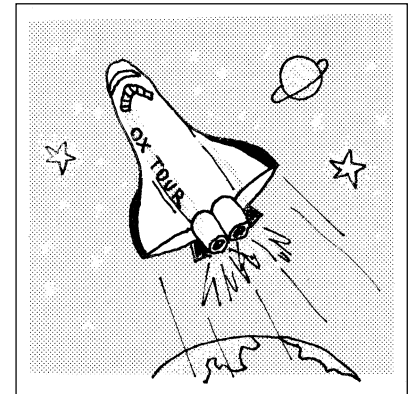
- ① しょう来^{らい}は、どうやって学校^{がっこう}のじゅ業^{ぎょう}をうけるようになるでしょうか。
- ② しょう来^{らい}、コンピュータ^{ぎょう}はどんなじゅ業^{つか}で使^{つか}われるでしょうか。
- ③ しょう来^{らい}学校^{がっこう}に行かなくてもよくなっても、学校^{がっこう}に行ったほうがいい^いと思いますか。どうしてですか。

(3) 未来の生活

さい近、けいたい電話がどんどん小さくなって、うで時計と同じ大きさのものもできたそうだ。また、写真も送れる電話があるそうだ。だが、小さくなりすぎると、使いにくいと思う人もいるかもしれない。しょう来は、今より人間の体にあった、もっとべんりな電話ができるだろう。

今、大きい町ではどこでも、かんきょうが問題になっている。道がこんで、空気がよごれている。さい近は、ガソリンではなくて電気で動く車が作られている。これからは、みんな空気をあまりよごさない車に乗るようになるだろう。

また、日本では「かん光まる」といううちゅうロケットを作る計画がある。これからは、おおぜいの人が乗れるロケットが作られて、だれでもうちゅう旅行ができるようになるだろう。もしうちゅうに行ったら、「もっとちきゅうを大切にしよう」と考えるようになるかもしれない。



質問

- ① しょう来の電話はどうなるでしょうか。
- ② かんきょうの問題をなくすために、みんなどうするようになるでしょうか。
- ③ あなたはうちゅう旅行に行きたいですか。どうしてですか。

こた
< 答え >

- (1) ① 2050年には、人間のチームに勝てる、強いロボットのサッカー・チームができるようです
(みたいです)
- ② 火事や海の中など、人間にとって行きにくい場所に行けます。
- (2) ① 学校に行かなくても、うちでコンピュータを使って授業を受けられるようになるでしょう。
- ② 美術や技術などでは、コンピュータを使って、先生たちの技術を手で感じるようになるかもしれません。体育の授業では、一人でサッカーやバスケットボールができるようになるかもしれません。
- (3) ① 今より人間の体に合った、もっと便利な電話ができるでしょう。
- ② みんな、空気をあまり汚さない車に乗るようになるでしょう。

バリエーション

- (1) グループごとに読んだ文章について発表する。その際、簡単にまとめて発表するのが難しければ、母語で発表してもいい。
- (2) インターネットで日本語を読むことができれば、次のようなホームページから情報を集める。

さんこう
< 参考になるホームページ >

・ ロボット

<http://www.robocup.or.jp/> (日本語) ロボカップ

<http://www.honda.co.jp/robot/> (日本語) 本田技研工業株式会社 (ロボット)

・ 学校

<http://www.wnn.or.jp/wnn-s/index.html> (日本語・英語) こねっとワールド

<http://www.wschool.net/> (日本語・英語) World School Network

・ 交通

<http://www.transport-pf.or.jp/> (日本語・英語) みんなのりもの(財団法人 運輸振興協会)

<http://www.nal.go.jp/Welcome-e.html> (日本語・英語) NAL 文部科学省航空宇宙技術研究所

<http://www.spacetopia.com/ja/tourism/jrs.html> (日本語・英語) スペーストピア

先生へ

・未来みらいについての文章ぶんしょうは『これからどうなる 21- 予測よそく・主張しゅちょう・夢ゆめ』（岩波書店いわなみしよてん）を参考さんこうにした。